



INGING MOTORSPORT



INGING MOTORSPORT OFFICIAL WEBSITE OF PAPER [<http://www.inging.co.jp>]

INGING NEWS PAPER 2013 VOL.04

A prize is won by the 2nd place.

TAKE FREE 無料



Race Report

Round.3 FUJI SPEEDWAY
7/14 Final

2013年7月14日 富士スピードウェイ



Congratulations! 2位表彰台獲得!!

今年の目標、表彰台獲得をクリア!チームの士気も上昇!!

Keiichi Hirate

Round.4 TWIN RING MOTEGI 8/3 - 8/4

Support by cyber net

INGING NEWS PAPER VOL.04 [インギング ニュースペーパー]

2013年8月発行 通巻4号

発行：株式会社インギング 西日本編集部
〒556-0011 大阪府大阪市東淀川区南港中1-12-5 船場駅前ビル2F

A prize is won by the 2nd place. Congratulations!

2位表彰台獲得!!

今年目標、表彰台獲得をクリア!チームの士気も上昇!!



Race Report

Round.3 FUJI SPEEDWAY

7/14 Final (決勝 Race 55周)

2013年7月14日 富士スピードウェイ
天候:晴れ | コース状況:ドライ

金曜日、土曜日と比べ、日曜日の天気予報は下り坂という情報があったものの、一夜明けてみれば早朝に小雨は降りましたが程度で、依然変わらぬ基礎の中、決勝は好天を恵まれた。

朝9時5分にスタートしたフリー走行では、PMU/CERUMO-INGINGの2台は順調にメニューを消化し、特に平手は、10周以上のロングランチェックを行いつつ、好タイムを達成。国本も、セッション早々にピットワークのシミュレーションを行った後ピットワークのチェックに入ったが、予選時とコースコンディションも違い、さらにガソリンの量、タイヤの状態といったマシンとの状況も変わっているため、マシンバランスの調整に苦戦。一度ピットに戻ってマシン調整を行い、ベストタイムの更新はできたが、車は大きくは好転せず、午後の決勝に向けてさらなるセーティングが重ねられた。

決勝レースが近づくと、午前中は曇りかかった日差しも強まり始めた。スタート直前には気温は30℃を越え、路面温度も40度を記録。過熱な戦いが予想された。午後2時15分、55周の決勝レースがスタート。予選2番手、4番手の国本と平手はともにもコースのイン側グリップからスタートした。直線での伸びたを覚えた平手は、前日に国本と並びかけたが、平手の背後からスタートしたアンソニー・ロジャースと中嶋一貴の台車がコースアウトから襲いかかる。ブレーキングで勝負するには有利なアウト側の2台に先行を許し、国本4番手、平手5番手で1コーナーを通過。しかし、下位集団の中で後続アシダントが発生しコース上に車列がストップしたため、レースは平手にセーフティカーが入ることになった。4周目が終わったところでスタートが切られると、平手はタイムリミットを合わせてノーバータイムシステムを利用し、1コーナーで国本をかわし5番手に浮上。反対スターにベネパルティを上げることに成功した。レース序盤はスタートで遊ばれた中嶋一貴とのバトルが自熱。1秒を切るギャップの中で数回にわたるチャンスをうかがっていたが、23周目に1コーナーで旗を仕掛けると、2コーナーで表彰台圏内となる3番手にポジションアップした。中嶋とのバトルの間に、トップ2の選手には差をつらねていたが、直線が伸びたから前走で平手はアツク。2013年Round3 決勝自己ベストタイムを更新しながら前走をいかけてきて、30周を終えるところでタイヤ交換と給油のためピットに戻ってきた。チームは大きなミスもなく作業をすませ、再び平手は目の前に立ち上がった。42周目の1コーナーへの飛び込みから迎えた2人の4位争いは、大コーナーを経て100mと続く。直線へ歩みかかっていた平手はアンソニーカーまでつれ込んだが、ここで平手は中嶋を抜き、4位を確定させた。度々変わる好バトルでレースを盛り上げた平手は平手にがさく2番手を走るマシンがベネパルティと後述。さらにトップを走っていた平手は平手にがさく2番手を走るマシンがベネパルティを受けると、平手自身、PMU/CERUMO-INGINGに懸念して初めての表彰台で、チームにとって2008年以降の表彰台となった。

一方、レース序盤で平手にかわされた国本は、午前中同様マシンバランスに整えられた。34周を快走する中、直線でも状況は変わらず、ヘアインを戦ったまま7位でエックカー、悔しい結果となった。

決勝レースで表彰台に分かれたPMU/CERUMO-INGINGだが、チームとしてのポテンシャル、さらにはマシンとの戦力を示すことができた週末だったに変わりはなく、上昇ムードの漂う中、次戦もぜひ2台揃っての好結果を目指す。



2013 SUPER FORMULA Round 03 Race Comment

'38 平手 晃平

Race Result 2位

「今朝のウォームアップでクルマの調子がとても良かったので、自信を持って決勝に臨むことができました。せかいいいベネパルティからスタートでスタートでしたが、QMの順位に先行できていい。難しいレースになると思っていたところ、直線や中嶋選手がペースダウンしてくれたのが大きかったです。中嶋選手とベネパルティの強さにも少しは驚かされたのですが、こちらでもオーバーテイクできなくてよかった。このチームに入って初めての表彰台獲得はうれしい反面、ピット作業で他のチームより時間がかかっていたり、まだまだ足りない部分も感じました。この表彰台獲得をきっかけに、シーズン後半戦にはトップチームとして奮闘してワークスチームになれるくらい強いチームにしてほしいと思っています。レースワークのクワリタの状況は本当に良かったし、チームのみんながすごく頑張ってくれた結果の表彰台と思うので、優勝できなかったことは悔しいですが、この2位という結果には満足しています。」

'39 国本 雄資

Race Result 7位

「スタート自体は悪くはなかったのですが、周りがいいスタートを見せていたので、オープニングラップの前半で順位を落としました。昨日の予選ではクルマのバランスがすごく良かったのですが、朝のウォームアップでリアリフトを懸念して調整ができてみると、昨日のようなリアリフトの長さを感じられず、タイムもあまり改善があまりありません。なんとか決勝では戦線復帰できるように頑張ったのですが、思うような走りができず悔しいです。しかしこの週末は、今まではセッションもあまりうまくいかなかったところだったので、次戦の目標もぜひもう少し予選で速さを示せられたらいいと思います。そのうえで、決勝レースが悪かった原因を分析し、レースでもっといい走りができるようにしたいと思います。」

監督:立川 祐路

TEAM DIRECTOR

「応援してくださっている皆さんに、まずは表彰台という結果をお慶びできて良かったです。どうもありがとうございます。今日の表彰台は、ベネパルティとチーム全員が頑張った結果です。国本は、予選に勝ってはドライバーが頑張ることで出ることもできましたが、レースに向けてのクルマという部分では前から一歩一歩と進んで、ペースアップに貢献してくれました。スタートと、セーフティカーが抜けた後のリスタートで出遅れていたのも、そのあたりはもう少しドライバーに対しての課題かと思っています。平手はその点でうまく出遅れはしなかったし、決勝に向けたクルマのフィードバックも良かったので、力を出し切ったということではなかったか、やはり、選手がいかに強くなるまでつなげる。チャンスをつかむということも大事になりますから、その辺りも課題では、しっかりと表彰台に上がることができて本当に良かったです。今年の目標としては、まずは表彰台の獲得というのを掲げていたので、それをクリアできて、チームの士気も上がっています。この位置で毎回レースができていけば優勝の可能性も出てきますし、今後に向けていいレースになったと思います。」

